

最新の情報技術を活用した
道路災害マネジメントに関する国際ワークショップ
～各国で実施されている災害マネジメントのケーススタディ～

日時：2022年6月30日(木) 9:30～17:00

場所：京都市国際交流会館イベントホール

プログラム(敬称略)

9:30 開会セッション

主催者挨拶

開会の辞

10:00 技術セッション1

『災害マネジメントと情報・コミュニケーション技術』

○高速道路における集中降雪時の災害マネジメント

～関越自動車道 記録的降雪と大規模車両滞留～

久保竜志【東日本高速道路(株)】

○地震シミュレーションを用いた阪神高速道路の災害マネジメント

曾我恭匡【阪神高速道路(株)】

○チリにおける道路緊急事態と情報マネジメント

Marcelo MEDINA【チリ公共事業省】

○台湾における最新情報技術の活用した道路早期警戒システムの構築と対応

Chin-Fa CHEN【台湾交通部】

11:40 PIARC TC1.5 災害マネジメント活動報告

○WG1 活動報告「災害マネジメントにおける情報通信技術の活用」

Jan GRUBER【チェコ共和国運輸省】

○WG2 活動報告「災害マネジメントにおける財務」

Sara CHINNICI【イタリア アウストラダ社】

○WG3 活動報告「災害マネジメントマニュアルについて」

Constantin ZBARNEA【ルーマニア道路橋梁局】

11:55～13:00 休憩

13:00 基調講演

『災害マネジメントの高度化に不可欠な
最近の道路インフラメンテナンス技術』

大西有三【京都大学名誉教授】

13:50 技術セッション2 『災害マネジメントと財務』

○自然災害に対するリスクマネジメント

～道路橋の被害がもたらす地域への影響評価に向けて～

四井早紀【立命館大学】

○高速道路における自然災害時の通行止め時間最小化の取組み

西垣祐二【西日本高速道路(株)】

○REAAA 道路交通のためのレジリエンス・イニシアチブ

Caroline EVANS【オーストラリアビクトリア州】

○災害マネジメントと財政 イタリアの事例

Sara CHINNICI【イタリア アウストラダ社】

15:30～15:40 休憩

15:40 パネルディスカッション

『道路災害レジリエンス強化に向けた戦略と技術』

コーディネータ 足立幸郎 (TC1.5 技術委員長)【阪神高速道路(株)】

パネリスト 宮西洋幸【中日本高速道路(株)】

日隈宏治【首都高速道路(株)】

遠藤和男【本州四国高速道路(株)】

Herry VAZA【インドネシア国公共事業住宅局】

Mark Henry RUBARENZYA【ウガンダ国道路庁】

Christopher ENGELBRECHT【米ミズーリ州交通部】

Pierre GILLES【ベルギー王国】

16:50 閉会セッション

挨拶

閉会の辞